

第3期あきた文化振興ビジョン（素案）に対する意見募集結果について

令和5年2月9日
秋田県観光文化スポーツ部
文化振興課

第3期あきた文化振興ビジョン（素案）について、県民の皆様から御意見を募集した結果は次のとおりです。御意見をお寄せいただき、ありがとうございました。

1 意見募集の期間

令和4年12月23日（金）から令和5年1月23日（月）まで

2 意見提出の状況

- （1）意見書の数 2通
- （2）具体の意見数 3件

3 お寄せいただいた御意見と県の考え方及び対応

番号	意見の概要	県の考え方・対応
1	学生（小学生から大学生まで）が公共文化施設を借りるときに半額にする等、借りやすい料金にして活動を応援してほしい。	あきた芸術劇場ミルハスや総合生活文化会館アトリオンでは、学校等における文化芸術活動を支援するため、学校等が児童、生徒、学生による文化芸術に関する公开发表や文化芸術を鑑賞する場合に利用料金を減免しております。 ご意見にあります学生が主体となった利用につきましては、これまで減免の対象とはしていませんが、文化の担い手である若者の活動を活発化させ、文化芸術活動を充実させることはビジョンの基本方針でもありますので、いただいたご意見を参考としながら、継続して若者への支援を進めてまいります。

2	県内にプロの楽団を作ってみたらどうか。プロの人から指導を受けたり、一緒に演奏をしてみること、子どもの意欲や奏でる音にプラスになる。	県内におきましては、アマチュアのオーケストラ楽団は多数活動していますが、プロのオーケストラ楽団を設立し、活動していくためには、運営面での課題も多く、実現は難しいのが現状です。 しかしながら、ご意見にありますように、子どもたちがプロの演奏家等から指導を受けることにより、音楽活動への意欲や演奏技術の向上等が期待できることから、来年度以降も東京藝術大学と連携して、演奏指導を含むアウトリーチ活動を行う等、子どもたちが質の高い音楽に触れる機会を提供してまいります。
3	デジタル化が進み、配信等により便利な面もあるが、その場に色々な年齢の方々が集まり、1つのものを創ったり、その場の雰囲気を楽しむことの良さもあるので、発表する場所（施設）は必要だと思う。また、交流を通して文化だけではなく、様々な人と関わることの良さにも気付くことができたらなお良いと思う。	県内ではこれまでも県民の多様なニーズや新型コロナウイルス感染症の流行拡大に対応するため、オンラインを活用したライブ配信やアーカイブ配信等、デジタル化に対応した取組を実施してまいりました。 こうした中で、ご指摘にありますように、参加者が一体となって文化芸術作品を創り上げていく喜びを味わうことやその場の雰囲気を共有すること、人との関わりを通じて繋がりが生まれるといった側面は、対面活動ならではの良さであると考えております。 県としましては、これまでと同様に、ミルハスやアトリオン等文化施設の利用促進を図るとともに、対面活動とデジタル化の良い面を活かしながら、引き続き県民の文化芸術活動を支援してまいります。